

寄付募集趣意書



一般社団法人日本スキンバンクネットワーク

2021年4月

ご挨拶

熱傷とは、熱により皮膚及び皮下組織の損傷をきたした状態をいいます。熱傷には、家事中の火傷等日常生活で起きる比較的小さなものから、化学プラントの爆発事故、大規模災害等で発生する火、化学物質、電気、蒸気、放射線等により発生する重度の熱傷があります。

広範囲の熱傷や、深い熱傷のような重傷熱傷の治療には、専門知識と経験を積んだ専門医、看護師等のスタッフによるチーム医療体制と共に、使用する治療材料の選択が非常に重要となります。重傷熱傷の治療プロセスは、熱傷によりダメージを受けた全身状態の管理から始まり、熱傷で壊死した部位を取り除き、被覆材等により傷口を閉鎖する治療が行われます。

傷口を永久的に被覆するのには患者自身の健全な部位の皮膚を採取し、それで傷口を被覆するのが唯一の方法です。しかし、広範囲に受傷している場合は、多くの健全な皮膚を採取する事はできません。このため、一時的に傷口を被覆する材料が必要になってきます。一時的に被覆する被覆材には人工材料やブタ皮膚のように動物由来の材料あるいは同種保存皮膚（ドナー皮膚）が使用されています。その中で最も有効な材料は同種保存皮膚となります。

同種保存皮膚は、不幸にして亡くなられた患者あるいはその家族の尊い意思によりドナーとして提供された皮膚であり、我が国では、一般社団法人日本スキンバンクネットワーク（JSBN）が採皮・保管、管理業務を担っております。

日本スキンバンクネットワークは、東京スキンバンクネットワークとして約10年間、熱傷専門医によりボランティアで運用されてきましたが、2006年9月に特定非営利活動法人日本スキンバンクネットワークとして全国規模の組織とし、現在は一般社団法人として活動しております。

この間、重傷熱傷の治療に大いに貢献し、年間100件近くのスキンバンクからの同種皮膚の提供実績を積み上げてまいりました。例えば、東海村放射線被曝事故、サハリン火炎瓶テロの被害者、福井原発事故、京都アニメーション放火事件等に同種保存皮膚を提供し重傷熱傷患者の救命に寄与してまいりました。

しかし無償で提供を受けた貴重な医療材料ですので通常の製品のように利益を上乗せする事もできません。スキンバンクの管理運営にはかなりのコストがかかりますが、それをカバーする対価を得ることができない状況にあります。

これまで以上に熱傷治療に貢献し、患者救命の使命を果たすため日本スキンバンクネットワークの業務に対する御支援を皆様をお願い申し上げます。

是非上記趣旨にご賛同賜り、ご支援いただけますようお願い申し上げます。

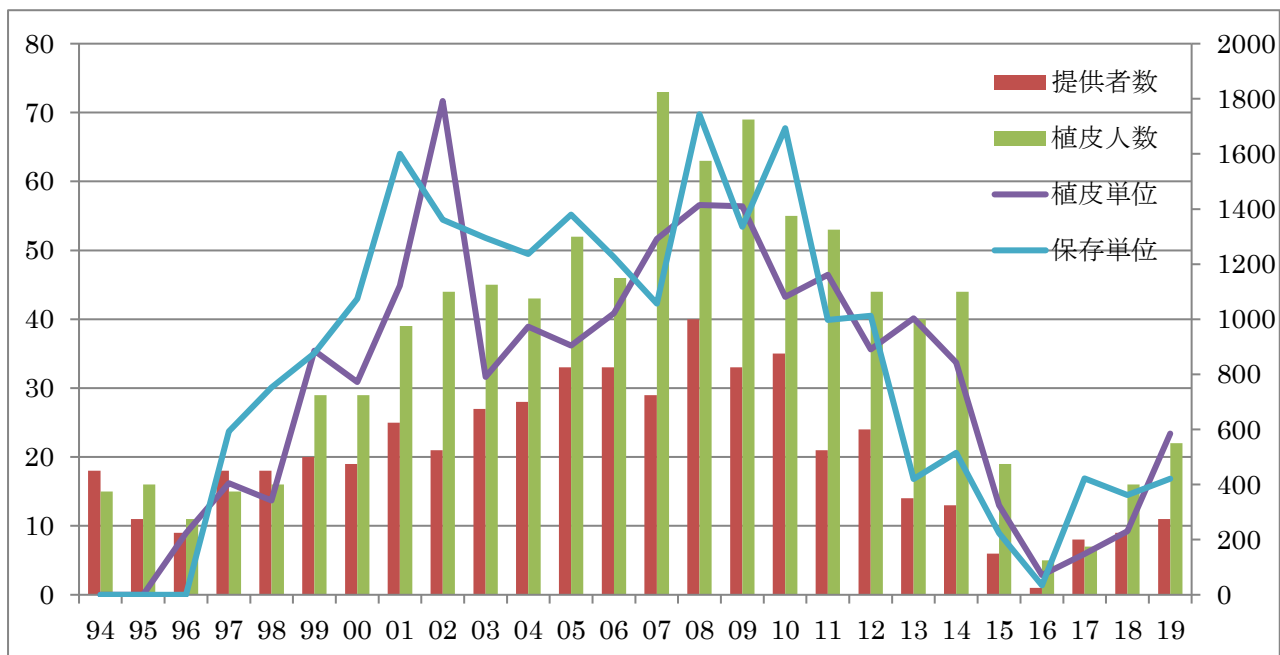
2020年10月

一般社団法人日本スキンバンクネットワーク

代表理事 佐々木 淳一

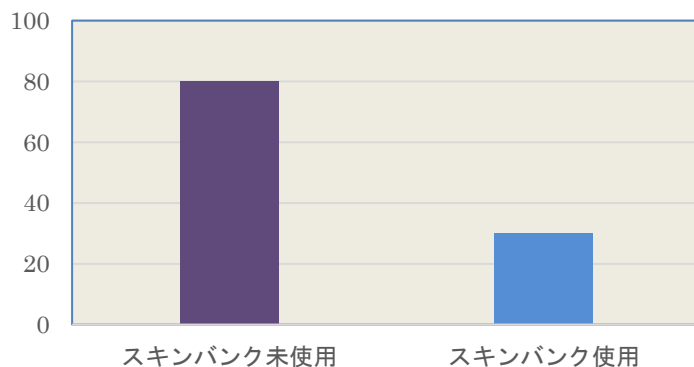
年間の活動実績

1994年に、前身である東京スキンバンクネットワークが設立され、活動を行ってまいりました。現在までに、524名の方から貴重な皮膚の提供を受け、全国の重傷熱傷患者さん910名に移植が行われました。



スキンバンクを使用した際の救命率

BI40~50の熱傷患者さんの死亡率



全身の30%に及ぶ熱傷を負うと重傷といわれています。スキンバンクを使用すると、重症熱傷患者の死亡率を半分以下まで下げることが可能となります。

参加施設

日本スキンバンクネットワークには、全国で80の熱傷治療専門施設が参加しています。
以下に参加施設の名称を上げさせていただきます。



(2021年4月現在)

組織概要

名 称	一般社団法人 日本スキンバンクネットワーク
設立年月日	2009年3月12日
主たる事務所	東京都文京区本郷1丁目4番6号 ヴァリエ後楽園 503
代 表 理 事	佐々木 淳一
専 務 理 事	上山 昌史、副島 一孝
常 務 理 事	田中 秀治
理 事	池田 弘人、伊東 大、織田 順、島田 賢一、 田村 純人、鳴海 篤志、福島 英賢、青木 大
監 事	久志本 成樹、松村 一

目的

広く一般市民を対象に、広範囲熱傷及び皮膚欠損患者の治療に用いる同種死体皮膚の採取、保存、供給を行うシステム（以下「スキンバンク」という）に関する事業及びヒト組織の保存法、加工法などの研究を行い、一般市民の医療の向上に寄与すること。

事業の種類

上記の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) スキンバンクに関する普及啓発事業
- (2) 同種皮膚の採取・保存・管理及びレシピエント（移植患者）への提供事業
- (3) スキンバンクに関する調査研究事業
- (4) ヒト組織の保存法、加工法に関する調査研究事業
- (5) その他目的を達成するための事業

ご支援・募金のご案内

- ◆一般社団法人日本スキンバンクネットワークの活動に、ご理解とご賛同いただける方を募集しております。
- ◆ご支援いただいた資金は、患者さんの負担を軽減するため同種保存皮膚の検査・凍結処理・保存費用の一部に充てると共に、バンクの運営資金、啓発活動、保存法研究資金として使用させていただきます。

ご寄付いただいた方へ

- ◆ ホームページ (<http://www.jsbn.jp>) へご芳名を掲載させていただきます。(匿名のご希望にも応じます)
- ◆ 活動報告としてニュースレターをお送りさせていただきます。